

モビリティキャリア 加藤 滋樹社長 派遣先の客に喜ばれる人材創出で 日本で一番幸せを感じられる会社へ

人材派遣や商業施設の販売促進事業を手掛け、また、外国人労働者に対応する事業を充実させているモビリティキャリア（名古屋市中区大須2）の加藤滋樹社長。「日本で一番幸せを感じられる会社をつくる」を企業理念とする加藤社長に話を聞いた。

—会社の歴史を教えてください。

加藤 2008年10月、尾張旭市でベロタクシー（自転車タクシー）を運営する法人を立ち上げ、地域のお年寄りや、観光施設やイベント会場で来場者の移動手段となるような事業を進めていました。また、愛知県で3年に一度開催される現代アートの祭典「あいちトリエンナーレ」でも美術作品を兼ねた運行手段として活用されました。そして13年11月、商業施設でのプロモーション企画運営もスタート。付随して人材派遣業務にも取り組み始めました。派遣業の拡大や法改正への対応のため、17年6月にモビリティキャリアを分社、独立させました。

—会社の強み、得意分野を教えてください。

加藤 当社が抱える人材は日本人の正社員とパート、そして外国人に大きく分かれています。

日本人の正社員はショッピングモールやスーパーなどでレジやポップの制作、イベントのプ



海外の送り出し機関とも覚書を締結し業務を拡大

ロモーションを行なっています。正社員は32人。西は岐阜県大垣市、東は千葉県浦安市まで広域にわたり様々な拠点で販売促進イベントを手掛けています。空気で膨らませるトランポリンの遊具施設をはじめ、さかなクンや森口博子など有名タレントのイベントディレクターなども手がけています。

一方、外国人では急増するニーズに対応するために今年2月、新たに海外人材事業部を設置し海外で働いていた人材や日本語講師の経験ができる人材など積極的に採用を行っています。また7月にはミャンマーとベトナムの送り出し機関と覚書を締結しました。いずれも日本語教育や技能教育を行う現地の大手で技能実習生、特定技能の人材をコーディネートするため面接の段取りや日本語・技能習得などをサポートします。

—業務に対する考え方は。

加藤 名刺にも印刷していますが「日本で一番幸せを感じられる会社をつくる」が私たちのビジョンです。人材派遣はお客様の先が本当のお客様。つまり、派遣先企業のその先に本当のお客様がいます。その人たちに「良かったな」と思ってもらえるようにしたい。言うのは簡単だがなかなか難しい。社員にも伝えますが、365日毎日現場が動いており、全員が一度に会社に来ることはできないので、SNSのグループを利用して伝えています。決算状況も公開していますし、経営理念を中心とした私の考えも知ってもらおうようにしています。



—新規事業など今後については。

加藤 海外事業については技能実習生は愛知県内のみ。特定技能生は全国対応で、業種は限定していませんが特にホテル清掃やビルメンテナンスや食品製造などに力を入れています。業界全体の課題は送り出す現地のエージェントやその国の政府要人との関係性です。要となる人材のルートが固定的になってしまうと、長い目で見た時に持続はむずかしいでしょう。「母国に帰ったらリーダーになってほしい」「キャリア形成まで含めた一気通貫」という思いでやっています。

また日本の経営思想も知ってもらうことも重要ですし、月1回相手国へ行く、テレビ会議システムを多用するなど意思疎通も図っています。現場は単純労働者のみならず将来リーダーになれる人材も求めています。後輩を育てることができる人材の養成を目的に、教育しています。

—人材の行先は。

加藤 先に言ったように食品製造・総菜工場、ホテル清掃・ビルメンテナンスが多く、介護業界、自動車関係が増えています。ITの汎用部

品や、製造業の工作機械の部品を作る会社などへの案件もあります。

—抱負・目標は。

加藤 今期末（来年5月）までに社員、常勤パート、海外人材を含めて計100人の増員を数値目標としています。コンサルタント会社や経済団体など、企業経営における経営企画や管理部門に長く関わってきましたので、バックオフィスの強化や人材確保といった強みを生かしながらM&Aも積極的に考えています。大きな枠組みをつくり、その中に事業会社をいくつか構えることを考えています。その中には海外の送り出し機関や日本語研修センターも入っています。さらに、バングラディッシュ、インドネシアやカンボジアなどの送り出し機関との提携もすすめ、理念を大事にしながら21年5月を目処に1000人規模のグループに成長させていきます。

加藤 滋樹（かとう しげき）

1980年生まれ。2003年4月名古屋市立大学経済学部卒業。同年4月、瀬戸商工会議所に就職。13年3月、名古屋大学大学院経済学研究科において経済学修士号取得。15年、瀬戸商工会議所退職。その後コンサルティングファームでM&A、データサイエンスを生かした経営改善業務などを経て、18年11月から現職。